

られるが、わたしは、ごく一般的で、簡単な方法を提供しようと思う。生徒たちの学習経験、学校での生活経験をとらえるということである。

中学校における指導は、小学校の学習を基礎として学習内容を習得させることを中心とする、中学2年の学習は、中学1年における既習事項を基礎として指導する、その学習経験をとらえることである。それによって生徒の個票も作成でき、生徒個々に対する指導計画、指導の展開をしていき、指導過程、指導成果を記録していつて

次の学習段階への発展的資料としての累積記録ができ、活用できる。

次の表は、小学校図工科学習内容の中から、中学校2年技術・家庭科（男子向き）学習内容「C機械」の(1)学習へとつながっていくものを抜粋した。小1から小6へ横へと一べつしても、学習経験の柱を認識できよう。

わたしは、そういう意味で下線を付してみたのであるが――。

(別表)

小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6
○簡易な材料や用具の扱いに慣れさせる	○身近な材料や用具を使って、かいたり、つくったりすることができる	○材料や用具の特色や扱い方を理解してかいたりつくったりすることができるようにする	○材料や用具の特色や技法を理解してかいたりつくったりすることができるようにする	○木や針金などの材料、それに伴う工具などの特色や技法を理解してつくる能力を高める	○線材や面材などの材料、それに伴う工具などの特色や技法を理解してつくる能力を伸ばす
(1) 自分で使う簡単なものをつくらることができるようにする	(1) 自分で使う簡単なものをくふうしてつくることのできるようになる	(1) 身のまわりのものを考えてつくることのできるようになる	(1) 身のまわりでつかうものを考え、計画的につくることのできるようになる	(1) 役に立つものの目的を考えて、計画的につくることのできるようになる	(1) 役に立つものの目的や美しさを考えて計画的につくることのできるようになる
ア、自分で使ったり遊んだりするものをつくらんと (以下略)	ア、身のまわりで使ったり、遊んだりするものをくふうしてつくること	ア、学習や遊びなどに役立つものを使う目的に合うようにくふうしてつくる	ア、入れ物、その他学習や遊びなどに使うものをつくること	ア、目的に合わせて美しく機能のなものを計画を立ててつくること	ア、役に立つものの目的や機能を考え美しく合理的な形をくふうし、計画を立ててつくること
(2) 興味をもって簡単な動くものや家などをつくらることができるようにする	(2) 簡単な動くものや家などをつくることのできるようになる	(2) 簡単な動くおもちゃや、家などをつくることのできるようになる	(2) 動くしくみをくふうして、おもちゃを作ったり、形を考えて家などをつくらたりすることのできるようになる	(2) 動力の使い方や伝わり方をくふうして、動くものをつくらたり形や組み立てを考えて建物などをつくらたりすることのできるようになる	(2) 動力の使い方や機構をくふうして動くものをつくらたり、合理的な形や構造を考えて建物などをつくらたりすることのできるようになる
ア、おしたりひいたり、水に浮かべたりして動く簡単なおもちゃをつくらんと (以下略)	ア、水の流れや風などで動く簡単なおもちゃをくふうしてつくること	ア、ゴムや竹などの弾性を生かして動いたり、走ったりするおもちゃをつくらんと	ア、ゴムや竹などの弾性、つりあい、などを生かして動いたり、走ったりするおもちゃをつくらんと	ア、ゴムやばねなどの動力をもとに、力の伝わり方をくふうして動くものをつくらんと	ア、滑車や輪軸などの動きを伝える機構を考えて動くものをつくらんと
(3) 紙類を主な材料とし、興味をもってつくることのできるようになる	(3) 紙類を主な材料とし、用具の使用に慣れさせる	(3) 紙類などを主な材料とし、用具を使用してつくる力をのばす	(3) (前年に同じ)	(3) 針金や木などの線材、面材を主とし、材料や用具を使用してつくる力ののばす	(3) 針金や木などの線材や面材を主とし、材料や用具を有効に使用してつくる力ののばす
ア、色紙や画用紙を主な材料とし、あき箱その他身近なものを使つてつくること (以下略)	ア、色紙、画用紙、中厚紙などを主な材料とし、あき箱その他身近なものを使つてつくること	ア、色紙、中厚紙、厚紙などを主な材料とし、竹ひごその他身近なものを使つてつくること	ア、厚紙などを主な材料とし、木片その他身近なものを使つてつくること	ア、線材や面材など身近な材料を使つてつくること	ア、目的に応じて線材や面材の特色を効果的に生かしてつくること